1971.12.16 明治大学新聞

10日

# 値上げ策動暴露す

## 理事会 秘密裡に50%の試案を

生田

十二月九、十、十一、十三日の四日間、生田校舎において学費問題、学長告示撤廃問題をめぐって「全生田討論集会」が行なわれた。

この一連の団交の中で、十日には厳しい学生の追及の前に田中佩力副学生部長（農学部教授）は学費五〇%値上げ案とその資料が配られていたことを明らかにし、翌十一日にはその資料が全面的にさらされた。「学費値上げ必至」が噂される折から、会場の工学部二〇〇三番教室は連日数百名の生田の学友で埋めつくされた。

九日の団交は田中副学生部長、谷口宏吉学生部員（農学部助教授）岡田正雄学生部員（農学部助教授）が出席して行なわれたが、学生が強く出席を求めていた福田工学部長、陶山農学部長、岡田学生課長などは全く姿を見せなかった。

この日、さらに十日に農工学部全教授の出席を求めて、全生田の学生・教授の話し合いをもつ旨の確約書を交わして団交を終った。

十日午後一時よりの団交には、田中副学生部長、谷口学生部、岡田学生部、天野正章工学部講師、田代幸造農学部助教授、田村徳一郎農学部教授が出席したが、この日も学部長などの責任者は学内に姿を見せなかった。出席各教授に対しては学長告示撤廃、対策委員会解散のこの間一貫してとられてきた大学当局の支配秩序維持のための方策に対する態度表明が迫られた。そして最終的には「学費値上げ問題以前の事柄として①学長告示撤廃②対策委員会解散の二つの方向で教授会に対して努力する」旨の確約書を各教授が表明。

田中副学生部長は学費値上げ問題に関する学生の問いに対して、「値上げ検討中ということは聞いているが、値上げが決まったかどうかは知らない」と答えていたが、午後六時すぎ、五〇%学費値上げ案を含む資料が配られていたことをついに明らかにした。八日に理事会－学長スタッフ会議があり、その席上で資料が配られ、値上げ案の説明があったというのである。このことによって当局が秘密裏に値上げを策動していることが暴露された。再度十一日に「討論集会」をもち、資料を公表することを田中副学生部長が確約してこの日の団交を終わった。

翌十一日には、工学部二〇〇三番室を埋めつくす学生を前に、午前十時より再度団交を開催。冒頭田中副学生部長は学費値上げに関する資料を読みあげるとともに、「学費値上げ阻止に向けて職をかけてもガンバル」こと、「学生と話し合いをもつためにはまず、学長告示撤廃、対策委員会解散が必要である」ことを表明した。午後姿を見せた岡田隆輝学生課長とも十日各教授と交わした確約と同内容の文章を交わした。さらにこの日、本校で開かれた「学費値上げ阻止総決起集会」に二十名の代表を派遣するとともに団交を継続、十二日の学生大会に向けて、十二日午前十時より「教職員・学生生田地区全学集会」を開くことを確認、岡田副学生部長は「工学部長、農学部長、岡田学生課長及び工学部・農学部両教授会々員の出席を要請する」ことを確約してこの日の団交を終わった。

十三日の集会は午前十一時より午後一時まで約一〇〇〇名の学生を結集し、田中副学生部長が副学生部長として午後の授業を中止させることを約束。これをもって午後からの全明学生大会に全力を集中する体制を確立し、学内デモンストレーションの後、学生大会参加のため本校へ向かった。